

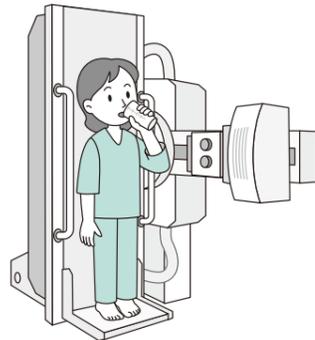
胃がんについて

1. 胃がんとは

胃がんは、中高年以上に発症することが多く、特に50歳代から急増します。胃がんは、胃の壁の内側をおおう粘膜の細胞が何らかの原因でがん細胞となり、無秩序に増えていくことにより発生します。早い段階では自覚症状がほとんどなく、かなり進行しても症状がない場合があります。

<代表的な症状>

- 胃（みぞおち）の痛み・不快感・違和感
- 胸やけ
- 吐き気
- 食欲不振



2. 発生要因

ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）の感染、喫煙があります。その他には、食塩・高塩分食品の摂取が、発生する危険性を高めることが報告されています。

3. 予防と検診

1) 予防

日本人を対象とした研究結果では、がん予防には禁煙、節度ある飲酒、バランスのよい食事、身体活動、適正な体形、感染予防が効果的と言われます。

2) 検診

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることです。現在、胃がんの検診方法として「効果がある」とされているのは以下の2つの方法となります。

検診方法	胃部X線検査	胃内視鏡検査
検診内容	レントゲンに写る白い造影剤（バリウム）を飲んで行う検診	胃カメラによる検診
受診間隔	2年に1度* *当分の間は1年に1度の実施も可能	2年に1度

検診の間隔は2年に1度ですが、気になる症状があるときには、検診を待たずに医療機関を受診しましょう。

出典元：国立がん研究センター がん情報サービス (ganjoho.jp)

健康診査の結果を確認しましょう!!

【特定健康診査・がん検診を受けた方へ】

6月に行った集団健康診査の結果通知書はお手元に届きましたか？まずは開封し、内容を確認しましょう。

今回の結果と前回の値を比較すると、あなたの体の変化がよくわかります。BMI、血圧、血糖、LDLコレステロールや中性脂肪が高いと、将来、脳や心臓の病気になる危険性が高まります。ご自身の検査値と基準値を比較して、体の状態をしっかりと把握し、必要な場合には生活習慣改善や治療により、基準値を目指してコントロールしましょう。

【精密検査の対象となった方へ】

がん検診で精密検査の対象となった方には、医療機関宛ての精検依頼書を同封しておりますので、必ず受診しましょう!!また「精密検査 返信票（ハガキ）」（記名不要）は精密検査受診後にご自身で記入の上、投函くださるようお願いいたします。

検査結果等でご不明なことがございましたら保健師にお問い合わせください。

八峰町 胃・大腸がん検診日程について

検診会場	実施月日	受付時間	検診内容及び検診対象
八峰町文化ホール	8月29日(月)	午前6時～午前8時	<ul style="list-style-type: none"> ●胃がん検診（胃部X線） …30歳以上対象 ※むせやすい方または誤嚥しやすい方は、医療機関での検診をおすすめします。 ●大腸がん検診 …30歳以上対象
	8月30日(火)		
	8月31日(水)		
	9月8日(木)		
	9月9日(金)		

●注意事項

- ①胃がん検診当日時点で、排便が1週間以上ない方は受診できません。
- ②検診会場は全て「八峰町文化ホール（ファガス）」です。
- ③集団検診には事前申し込みが必ず必要です。
- ④受付時間を指定しています。
※通知した受付時間以外は案内できませんのでご了承ください。
- ⑤検診での送迎を希望される方は下記までご連絡ください。



●大腸がん検診追加のお知らせ

胃がん検診に合わせて大腸がん検診を追加で実施します。検体の提出は本人でなくても可能です。ご希望の方は必要物品を郵送しますので、下記までご連絡ください。

■問合せ先 福祉保健課 健康推進係 ☎76-4608